

応募方法

通年受講

第一弾締切：9月15日※定員に満たない場合は11月1日まで募集を継続

- 応募フォーム (<https://forms.cloud.microsoft/r/iyf4Dsp21r>) からお申込みください。フォームから申し込みが難しい場合は、問い合わせ先 (office@hso-t.com) ホームページで申し込み希望とご連絡ください。応募用紙をお送りします。
- 受講までの流れは、以下の流れとなります。
申し込み▶応募書類による選考 (地域性、公益性)
▶受講決定通知▶受講料のお支払い▶受講開始

応募フォーム



単発受講

締切：各回開催日の1週間前

- 申し込みフォームよりお申込みください。
- 単発受講のお申込みは、9/1頃から開始します。申し込みフォームは、当団体HPからご確認ください。

問い合わせ

ひょうご持続可能地域づくり機構 (HsO)
(事務局：一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所 (HsI))
担当：中川 E-mail: office@hso-t.com
<https://www.hso-t.com/>

HP



受講生の声

本スクールは、今年度より”ひょうごサステナビリティ共創スクール”と装いを新たに、スタートします。前年のスクール受講生の感想をご紹介します。

- 漠然とした関心を、社会とつながる具体的な形にしたいと参加しました。手厚いサポートや仲間との学びを通じて事業計画を形にでき、地域づくりを考える貴重な機会になりました。
- 学ぶだけでなく、自分ごととして事業計画を考える中で視点が大きく変わりました。
- 現場の実情を把握する中で、地域活性化の重要性に気づき、実践的でユニークな提案づくりにつながりました。
- 「世界の感じ方は今すぐ変えられる」という言葉が、プログラムでの学びを象徴していました。
- 幅広い世代・分野の参加者との出会いは、今後の人生や活動に生きる財産となりました。
- プラスチック業界の立場から、社会変化への貢献方法を探るために参加しました。講義やグループ演習を通じて新たな視点を獲得、身近に実践できる脱炭素の取り組みを見出しました。

ひょうご持続可能地域づくり機構 (HsO)

当機構 (HsO) は、人類的な課題となりつつある気候変動対策や生物多様性の保全と、地域の持続に向け、地域が中心となって取り組むため、環境省の人材育成モデル事業を契機として2015年に兵庫の但馬・豊岡の地で発足し、持続可能地域土 (サステナビリティ・オーガナイザー) の育成に取り組んでいます。

構成：兵庫県、兵庫県立大学、神戸市、姫路市、相生市、豊岡市、赤穂市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、宍粟市、たつの市、市川町、福崎町、神戸町、太子町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町、(一社) ひょうご持続可能地域づくり研究所【事業パートナー】

豊岡商工会議所、豊岡市商工会、(株) 但馬銀行、但馬信用金庫、NPO 法人コウノトリ市民研究所、NPO 法人暮らしのエコをすすめる但馬の会、姫路商工会議所、姫路市商工会、宍粟市商工会、(株) 三井住友銀行、(株) みなと銀行、西兵庫信用金庫、但陽信用金庫

【理事】

上西 琴子 (兵庫県 環境部長)
吉村 陽 (兵庫県 環境部 次長) (監事)
三川 博英 (神戸市 環境局 副局長)
田摩 和彦 (姫路市 農林水産環境局環境政策室 室長)
村田 一紀 (豊岡市 コウノトリ共生部 部長) (監事)
祐谷 佳孝 (宍粟市 産業部長)
増原 直樹 (兵庫県立大学 環境人間学部 教授)
畑中 直樹 ((一社) ひょうご持続可能地域づくり研究所 代表理事) (代表理事)

一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所 (HsI)

修了した受講生とともに持続可能な地域づくりに向けて、事業の具体化、社会への実装を共に進めていくため、一般社団法人ひょうご持続可能地域づくり研究所 (HsI) を平成29年4月に設立しました。本事業の事務局を担当しています。※平成29年4月11日設立、同5月9日登記

ひょうご サステナビリティ 共創スクール開講！

11期生募集中

第一弾締切

9/15

定員に満たない場合
11/1まで募集継続

単発受講生も募集中
各回開始日1週間前まで



サステナビリティを事業と地域の力に。

地域や社会を変える一歩を踏み出す。



09
!
03

ともに学び、ともに創る。持続可能な未来を、兵庫から。

JOIN US!

お悩みの方は、まずはオープンセミナーへ。特別講演やオープンセッションの単発参加も可能です。

■オープンセミナー：参加費無料

地域と企業の未来をつくるサステナビリティ実践セミナー

日時：2026年9月14日 (月) 18:30～20:00
場所：神戸国際会館701会議室＋オンライン
定員：現地30名＋オンライン参加者

- サステナビリティの実現に向けて
畑中直樹 (ひょうご持続可能地域づくり機構 (HsO) 代表理事等)
- ひょうごサステナビリティ共創スクールについて

お申込みはこちら



主催：兵庫県・公益財団法人ひょうご環境創造協会 (運営：ひょうご持続可能地域づくり機構 (HsO))
【事務局：一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所 (HsI)】

スクールの特徴

- **実践者に学び**、多様な仲間とつながりながら、地域課題解決や持続可能な地域づくりに挑戦する実践型スクールです。
- **立場や業種を超えた仲間と出会い**、多様な主体が、共に未来を描きます。
- 特別講演、オープンセッション、フィールドワーク、演習の4つのステップで構成され、全プログラム受講のほか、一部講座のみの参加も可能。**ご都合にあわせ、無理なく学びを始められます。**

01



特別講演

気候変動、人口減少等によりこれまでの延長線上にはない社会の到来が予測されています。その中で、どんな未来を描くのか？社会のあり方について、本質はどこにあるのか？特別講演を通じて考えます。

02



オープンセッション

地域共創の実践者である方々をお招きし、話題提供・対話を通じて、目指す社会の姿やその実現に向けて、自ら何に取り組むべきかを考えます。

03



豊岡フィールドワーク

コウノトリ野生復帰を通じた環境政策や地域づくりを長年にわたり積み重ねている豊岡市を訪れ、なぜ豊岡で新たな挑戦が次々に生まれるのか、その背景にある考え方や地域の実践に触れます。

04



学びを实践へー事業組み立ての演習ー

自身が取り組みたいテーマについて、個人またはグループで事業計画を組み立て、修了発表会で発表します。

対象者

兵庫県内在住・在勤の個人、事業者、学生、自治体職員・金融機関職員・団体等職員
(県外の方はご相談ください)



特に、以下の方に特におすすめです

- 地域共創に取り組みたい自治体職員
- 統合報告書の作成、地域貢献、人材確保等に携わる企業担当者・団体関係者
- 地域づくりやサステナビリティに関心があり、行動を始めたい大学生・個人
- 公民連携による脱炭素や自然共生等、地域共創事業に関心のある方

受講料と参加方法

通年受講

- 定員：20名程度
 - 受講料（特別講演＋オープンセッション＋豊岡フィールド＋演習）：個人15,000円、法人受講25,000円（2名まで参加可能です）
- ※28歳以下、構成団体の職員・過去受講生・修了生：無料

単発受講

- 特別講演 3,000円/回
 - オープンセッション 2,000円/回
 - フィールドワーク 1日目：2,000円 2日目：5,000円
- ※単発受講から通年受講への切り替えも可能（最終、通年受講料金で受講可能）
※定員は通年受講生の受講により変動し、各回設定します。
※28歳以下、構成団体の職員・過去受講生・修了生：無料
※フィールドワークは、実費（飲食等）は別途負担

通年受講がお得です！

通年受講とは？

- 全回受講可能。
- 欠席回はアーカイブ動画閲覧可能です。
- 修了要件を満たした方を、一定の能力を身に付けた方を、サステナビリティ・オーガナイザー（持続可能地域士（SO））に認定

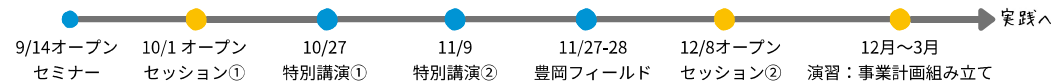
<修了要件>

特別講演～視察まで4回受講＊
＋事業計画発表を実施

＊全てアーカイブ視聴のみは不可。
2回以上のリアルタイム参加（現地またはオンライン）が必要です。

講座概要・スケジュール

通年受講はもちろん、関心のあるプログラムのみの単発受講も可能です！
講師プロフィール等詳細は、HPをご確認ください。



■ 特別講演

地域のサステナビリティを高めるために必要なこと

- 定員：現地50名以内（通年受講者含む）＋オンライン参加者
- 会場：神戸市内（三宮界隈）＋オンライン※決定次第HPで公開 ○時間：15時～17時30分

●10月27日（火）「事業経営とサステナビリティ」

大久保 和孝氏（株式会社大久保アソシエイツ代表取締役社長、公認会計士（元EY新日本有限責任監査法人経営専務理事））



●11月9日（月）「地域社会とサステナビリティ」

渋沢 寿一氏
（農学博士／一社「根と路」代表理事、公財「真庭エスパス文化振興財団」理事長）



■ オープンセッション

兵庫県内・地域でロールモデルとなる実践者による話題提供およびディスカッション

- 定員：現地20名程度＋オンライン参加者最大15名想定（通年受講含む）
- 会場：神戸市内（三宮界隈）＋オンライン ※決定次第HPで公開
- 時間：18時30分～20時15分（20:40過ぎまで講師との自由交流あり）

●10月1日（木）「地域共創をどう紡ぐか？」

- 畑中 直樹氏（博士（環境科学）/ひょうご持続可能地域づくり機構（HsO）代表理事/（一社）ひょうご持続可能地域づくり研究所（HsI）代表理事）
- 宮垣 健生氏（但馬信用金庫理事長）

●12月8日（火）「企業は地域共創にどう取り組むのか？」

- 藤本 義人氏（株式会社神戸マツダ コーポレートサービスGr. 総務チーム）
- 布目 海大氏（東急不動産株式会社環境エネルギー事業本部 事業統括部 政策・地域共生グループ 主任兼一般社団法人再生可能エネルギー地域活性協会事務局 企画部）

■ 豊岡フィールド

現地で体感。地域課題の解決と新たな価値創造を両立する豊岡の地域共創の本質を紐解く。

- 11月27日（金）午後～28日（土）16時頃まで
- 詳細は決まり次第公表。飲食代等のみ実費負担。その他は受講料に含まれます。
- 三宮～現地はバスで巡ります。1日目のみの参加も可能です。

豊岡市は、コウノトリ野生復帰を通じた環境政策や地域づくりを長年にわたり積み重ねながら、近年では、自然共生と脱炭素を一体的に進める先進地域として注目を集めています。
脱炭素先行地域の取り組みをはじめ、なぜ豊岡で新たな挑戦が次々に生まれるのか、その背景にある考え方や地域の実践に触れます。行政、企業、市民がともに地域の未来を描き、対話と協働を重ねながら進めてきた歩みを体感し、地域課題の解決と新たな価値創造を両立する豊岡の地域共創の本質を、1泊2日で紐解きます。

●1日目

地域の方の実践を座学と対話で深めます。
過年度の修了生との交流会も予定しています。

●2日目

自然共生や脱炭素に関する取組の現場を巡り、豊岡市ならではの地域づくりを体感します。

■ 学びを实践へー事業組み立ての演習ー

●計3回：平日18:30～20:15を想定

- 第1回（12月16日（水））：ありたい姿の共有・コンセプト検討
- 第2回（1月14日（木））：事業計画のフレームを検討
- 第3回（2月11日（木））：仕上げ
- 修了発表会（3月頃）

- 自身が取り組みたいテーマについて、個人またはグループで事業計画を組み立て、修了発表会で発表します。
- 各回の間は、チームでの意見交換や議論の場の設定、調査等を行い、組み立てます。
- テーマに即して、事務局やメンターがサポートします。